

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援工房千葉中央教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数や意見の通りやすさ	職員の配置が多めに設定されており、細かく係や委員会を設定できている。 そのため1人に負担がいきすぎず、全員で取り組める体制がとれている	地域連携や研修等の係の策定されておらず、よりよい職員の育成、質の良い支援づくり、地域で認知される姿になれるように企画していく
2	小学校高学年から中学・高校生に対する学習支援の充実化	一人一人のお子さんと対話しながら学習内容について、将来についての見通しを話し合い、具体的な活動内容を実践できるように事前に圭角を立てる	行政や先輩のお話や体験談を実際に聞くことができる機会を設ける。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携や関わりが希薄である	連携の仕方や関わり方が分からない	定期的な見学会や体験会の実施 地域のイベントへの参加
2	保護者同士で交流する機会やきょうだい同士で交流する機会を設けることができていない。	保護者会等の集まりを企画する際の時間調整や実施方法の検討が十分に行えていなかった。	今後は、少人数・短時間での交流の場を段階的に検討し、参加しやすい形で家族同士のつながりを広げていく。
3			